## FOLFIRI + Cmab

対象 <b>結腸・直腸癌</b>
------------------

投与順	抗癌剤名	投与量	手技	投与時間·速度	投与日(d1,d8等)
1	セツキシマブ	初回:400mg/m² 2回目以降:250mg/m²	DIV	初回:2hr 2回目以降:1hr	d 1,8
2	イリノテカン	150mg/m2	DIV	2hr	d 1
3	レボホリナート	200mg/m2	DIV	2hr	d 1
4	5FU	400mg/m2	DIV	15min	d 1
5	5FU	2400mg/m2	DIV	46hr	day1 ∼day3

1コース期間	2週間					
総コース数	10コース					
投与開始基準	・好中球≥1500  ・PLT≥10万  ・HGB≥9.0  ・T-Bil≤施設基準上限(1.2)×1.5  ・AST、ALT≤100(肝転移:≤200)  ・クレアチニン≤施設基準上限(1.06)×1.5					
減量規定·中止基準	Grade3の白血球減少、好中球減少、血小板減少、非血液毒性 5-FU (bolus)、イリノテカンは、副作用状況により投与しない場合がある。 Grade4の皮膚障害を認めた場合は、Cmabを中止。    減量レベル					
2コース目以降の投与開始基準	投与開始基準に準じる					
コース間での休薬の規定	なし					
投与量の増量規定	なし					
注意すべき副作用	骨髄抑制、下痢、吐気、口内炎、コリン作動性症状、インフュージョンリアクション、皮膚障害、低Mg血症					

## FORFILI + Cmab

1コ-ス期間 投与所要時間 : 14日 初回

: day1⇒4時間45分 day8⇒1時間30分

2回目以降: dav1⇒3時間45分 dav8⇒1時間30分

ルート 薬剤名 標準投与量 投与方法 投与時間 Rρ dav1 dav8 カイトリルバック 100mL デカドロン 6.6mg div 30min 0 ★イメンドカプセル125mg 内服 ★レスタミン錠10mg 5錠 内服 100ml 生食 1′ デカドロン 0 6.6mg div 15min ★レスタミン錠10mg 5錠 内服 主管 2 生食 50mL div 全開 0 生食 500mL(初回) 初回のみ400mg/m<sup>2</sup> 初回のみ120min 生食 250mL(2回目以降) div 0 0 2回目以降60min 2回目以降250mg/m<sup>2</sup> アービタックス mg 生食 250mL 4 カンプト ]mg  $150 \text{ mg/m}^2$ div 2hr 0 ★Rp5を同時投与 生食 250mL 5 アイソボリン  $200 \text{ mg/m}^2$ 0 側管 lmg div 2hr ★Rp4の側管から同時投与 50mL 生食  $400 \text{ mg/m}^2$ div 15min 0 5FU mg 生食 [230mL-5FU]mL  $2400 \text{ mg/m}^2$ 5FU mg div 46hr 0 主管 ★インフューザーポンプを用いて 8 生食 50mL div 15min 0

## コメント

- ・レスタミン錠10mg 5Tを処方1と同時に内服する。
- ・初回はアービタックス投与後1時間経過観察を行う。
- ·嘔気コントロール不良時は、カイトリル⇒アロキシへの変更を考慮。
- \*初回投与時、保湿剤ヒルドイドクリーム処方。

症状に応じてステロイド外用薬(顔:ロコイドクリーム<sup>®</sup>、体:リンデロンV軟膏<sup>®</sup>)、ミノサイクリン200mg分2(肝機能低下患者にはクラリスロマシン200mg分2)の処方を検討。